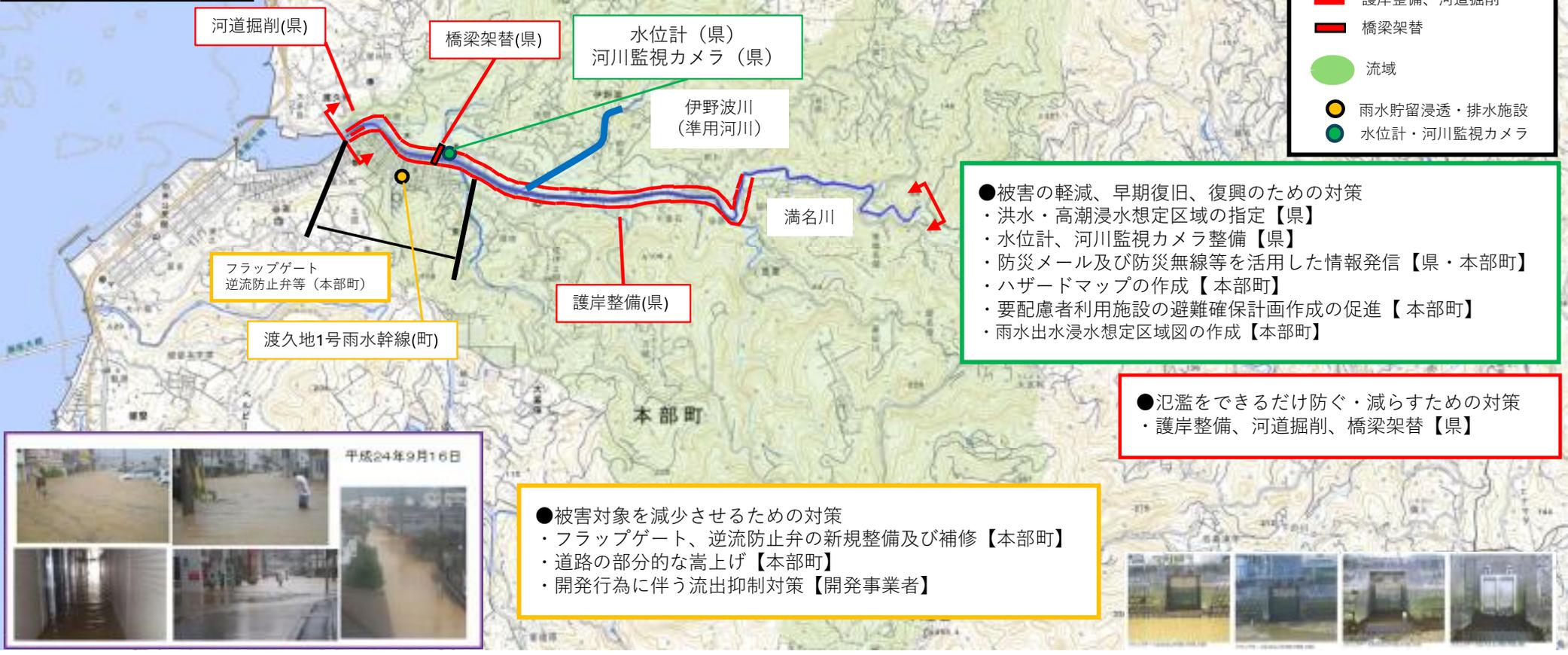


○満名川は、沖縄本島北部の本部町に位置し、下流部には、町役場、小中学校、郵便局等の公共施設が集中している。平成24年9月の台風16号においては、床上・床下の浸水被害が発生しているため、整備区間の計画洪水規模の出水に対する河川整備や避難のためのソフト対策等に取り組み、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



●被害の軽減、早期復旧、復興のための対策
・洪水・高潮浸水想定区域の指定【県】
・水位計、河川監視カメラ整備【県】
・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信【県・本部町】
・ハザードマップの作成【本部町】
・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【本部町】
・雨水出水浸水想定区域図の作成【本部町】

●氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
・護岸整備、河道掘削、橋梁架替【県】

●被害対象を減少させるための対策
・フラップゲート、逆流防止弁の新規整備及び補修【本部町】
・道路の部分的な嵩上げ【本部町】
・開発行為に伴う流出抑制対策【開発事業者】

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります。

満名川では、上下流の流域全体を俯瞰し、県、町、住民や民間企業等が一体となって、以下により「流域治水」を推進する。

【短期・中期】 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策では、護岸整備や河道掘削、橋梁架替等の河川改修を集中的に実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では、フラップゲート、逆流防止弁の新規整備及び補修、道路の部分的な嵩上げを行うほか、水位計、河川監視カメラ整備による防災体制の強化を図る。

【中長期】 河川改修後の河道状況を把握し堆積土砂除去を行うなど、各施設において適切な維持管理を実施。被害の軽減、早期復旧、復興のための対策では毎年フォローアップを実施し、防災体制の改善・強化に繋げていく。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期（概ね5年間）	中期（概ね10～15年間）	中長期（概ね20～30年間）
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	・護岸整備、河道掘削、橋梁架替	県			
被害対象を減少させるための対策	・フラップゲート、逆流防止弁の新規整備及び補修 ・道路の部分的な嵩上げ	本部町			
	・開発行為に伴う流出抑制対策	開発事業者			
被害の軽減、早期復旧、復興のための対策	・水位計、河川監視カメラ整備 ・洪水・高潮浸水想定区域の指定	県			
	・ハザードマップの作成 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・雨水出水浸水想定区域図の作成	本部町			
	・防災メール及び防災無線等を活用した情報発信	県、本部町			

満名川水系
流域治水プロジェクト

浸水被害軽減・逃げ遅れゼロ

【凡例】

- 破線：事業中、取組中
- 実線：維持管理、フォローアップ等